

セミナー開催報告

◆産業技術総合研究所◆ 第1回ダイバーシティセミナー

「パパ、イクメン化計画！ ～働く男女のパートナーシップ～」を開催しました。

2012年12月5日(水)に産総研共用講堂において、講師に育児・教育ジャーナリストである“おたとしまさ”氏をお迎えし、第1回ダイバーシティセミナー(育児に関する勉強会)「パパ、イクメン化計画！ ～働く男女のパートナーシップ～」を開催しました。

ダイバーシティセミナーは、これまで産総研において女性研究者支援、男女共同参画推進を目的として開催してきたエンカレッジセミナーを、更にダイバーシティ推進に向けて発展させたものです。

おた先生は、All About「男の子育て」の公認ガイドであり、「パパのトリセツ」「パパのネタ帳」などの著書があると共に、私生活でも2児の良き父親であるパパのプロフェッショナルです。

講演では、「パパのトリセツ」に沿った内容で、前半はパパの全自動育児ロボット化について、ロボットの取扱説明書と称した男性をその気にさせる方法を、後半は良い夫婦けんかのやり方を通した夫婦のパートナーシップの築き方についてお話になりました。

先生の活発でユーモアあふれる語り口と、豊富な実践と取材に裏打ちされた説得力あるお話が聴講者にたいへん好評でした。



◆産業技術総合研究所◆ 第2回ワーク・ライフ・バランスセミナー

「マイナスに考えない、暗くならない介護

～仕事やライフワークの中での介護・認知症を支える工夫～」を開催しました。

2012年12月19日(水)に産総研つくば共用講堂において、介護老人保健施設「涼風苑」リハビリ室長・NPO法人茨城県ケアマネジャー協会副会長である浅野有子氏を講師としてお迎えし、第2回ワーク・ライフ・バランスセミナー(介護に関する勉強会)「マイナスに考えない、暗くならない介護～仕事やライフワークの中での介護・認知症を支える工夫～」を開催しました。またTV会議システムにより、産総研の地域センター等へも同時配信されました。

第1部は「介護とは何か 頑張らない介護のコツ 仕事や役割との両立」と題した導入的な講演、第2部は講師のご専門を活かし「認知症と向き合う コミュニティケアで支える認知症」と題した介護の現場に即した講演が行われました。

講師の浅野先生のとにかく朗らかなキャラクターは、とかく暗くなりがちな介護、認知症の問題に対して、何とかやっつけられるのではないかと前向きな気持ちを引き起こして下さいました。自立の精神と共に、コミュニティを作る大切さをたくさんの事例とともに教えていただきました。素敵な講師でした。

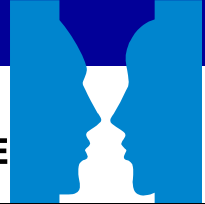
今回は講師のご厚意もあり、初めての試みとして、講演終了後に個別相談の時間を設けました。数名の方にご利用いただき、好評を得ました。産総研ダイバーシティ推進室では、今後も、職員の皆様のご希望を伺いながら、様々な施策を打っていきたく思っております。



◆ダイバーシティ・サポート・オフィス(DSO)

平成24年度第2回懇話会 「キャリア形成支援について」を開催しました。

2012年12月5日(水)に産総研の共用講堂において、DSO参加機関の担当者による第2回懇話会を開催しました。大学院における女性比率の増加は留学生の増加によるところが大きく、日本人女性はほとんど増えていないことがわかってきています。日本人研究者の増加のために、幼少期から常勤研究者までの過程におけるキャリア形成支援がますます重要になると考えられます。今回は12機関から22名の担当者が集まり、キャリア形成支援について自機関の取り組みを紹介し合うと共に、女性研究者の採用状況や大学における留学生動向などを話し合いました。



内閣府男女共同参画局より独立行政法人等女性参画状況調査の公表

内閣府男女共同参画局は平成24年12月14日に、「女性の政策・方針決定参画状況調べ」「国の審議会等における女性委員の参画状況調べ」「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況」と共に、「独立行政法人等女性参画状況調査」の平成24年度調査結果を公表しました。

<http://www.gender.go.jp/research/index.html>

『2020年30%』の目標

第3次男女共同参画基本計画において、政策・方針決定過程への女性の参画の拡大は我が国の社会にとって喫緊の課題とされ、「社会のあらゆる分野において、2020年までに、指導的地位に女性が占める割合が、少なくとも30%程度になるよう期待する」という目標が明記されています。独立行政法人、特殊法人及び認可法人における女性の参画の拡大については、同計画に具体的施策が掲げられており、独立行政法人等は国や地方公共団体とともに積極的に取り組むことが必要とされています。

独立行政法人等において、全常勤職員に占める女性の割合は22.6%、管理職に占める女性の割合は、課長相当職は6.6%、部長相当職は3.7%となった(看護師を除く)。管理職30%という目標を考えるとお寒い状況ではありますが、平成24年度の採用者(新規学卒者)に占める女性の割合は37.2%であり、女性採用が促進されていることは伺われます。

世界経済フォーラム(WEF)による2012年グローバル・ジェンダー・ギャップ・レポート(世界男女格差年次報告書)によると日本は101位と順位を落としており、逆にジェンダーギャップの縮小に成功した国と、強力な経済競争力を持つ国との間には、強い相関関係があることが示されています。世界経済に置いて行かれないためにも、女性の採用をこのまま促進すると共に、管理職登用についても進めていく必要があると思われます。

お役立ち情報 若手女性研究者の皆様へ

文部科学省 科学技術人材育成費補助金 女性研究者研究活動支援事業

若手女性研究者支援フォーラム 「外部資金獲得のためのノウハウを学ぶ ～若手女性研究者の研究環境改善に向けて～」

<http://www.fss.tmu.ac.jp/extra/download.html?d=assets/files/download/Forum20130125.pdf>

【日時】2013年1月25日(金) 13:00～15:10

【会場】首都大学東京 南大沢キャンパス 国際交流会館中会議室

【プログラム】

13:00～13:05 主催者挨拶

13:05～14:00 講演「若手女性研究者が外部資金を獲得するために」

秋田大学教育文化学部環境情報講座 准教授 高樋 さち子氏

予約不要(どなたでも参加できます)

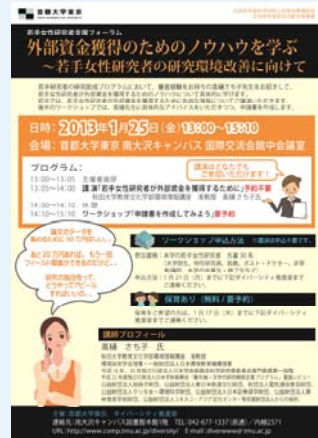
14:00～14:10 休憩

14:10～15:10 ワークショップ「申請書を作成してみよう」

要予約(首都大 若手女性研究者のみ)

* ご参考までに。昨年度に秋田大で開催された際の資料PDFが公開中。

<http://www.akita-u.ac.jp/coloconi/h23pdfimg/shikin-kakutoku.pdf>



ダイバーシティ・サポート・オフィスのご案内

男女共同参画の取り組みを進めている研究教育19機関では、ダイバーシティ・サポート・オフィス(DSO)を組織し、ワークライフバランス支援や意欲触発支援のノウハウの蓄積・発信・共有を進めております。

*DSOメンバー(参加順):産業技術総合研究所、森林総合研究所、物質・材料研究機構、農業環境技術研究所、千葉大学、筑波大学、神戸大学、農業・食品産業技術総合研究機構、土木研究所、国立環境研究所、国際農林水産業研究センター、農業生物資源研究所、防災科学技術研究所、高エネルギー加速器研究機構、理化学研究所、宮崎大学、上智学院、弘前大学、岡山大学

「DSO News Letter」は各DSO参加機関へ、それぞれで働く方へ、また広く外部に向けて情報発信するツールとして月1回発行しております。当Letterの紹介も歓迎いたします。バックナンバーはDSOホームページにてご覧いただけます。